

私が女になった日 (2000)

THE DAY I BECAME A WOMAN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イラン

時間 78分

初公開日 2002/02/02

公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ

【キャッチコピー】

幸せの砂を、散りばめよう。

【解説】

「サイクリスト」「パンと植木鉢」などを手掛け、問題作「カンダハール」がセンセーションを巻き起こしたイランの巨匠モフセン・マフマルバフの妻マルズィエ・メシュキニが初監督した作品。イランのキシユ島を舞台に、イスラム社会で遅しく生きる女性たちの、それでもなお厳しい現実を見据えた3つのオムニバス・ストーリー。2000年ヴェネチア映画祭最優秀新人監督作品賞受賞。

第1話「ハッワ（イヴ）」――今日はハッワの9歳の誕生日。9歳になると女の子は大人として扱われ、スカーフを被り、男の子たちとも遊べなくなってしまう……。第2話「アフー（鹿）」――この日、キシユ島では女子自転車レースが行われていた。参加者のひとりで離婚を望むアフーを追いかけて、馬に乗った男たちが次々と現れるが……。第3話「フーラ（妖精）」――ポーターの少年たちを従え、老女フーラは、長い間憧れていた品々を買いに行く。しかし、どうしてもひとつだけ買い忘れた品物が思い出せない……。

【クレジット】

監督 マルズィエ・メシュキニ Marzieh Meshkini

脚本 モフセン・マフマルバフ Mohsen Makhmalbaf

撮影 モハマンド・マフマディ

出演 ファテメ・チェラグ・アザル

シャブナム・トルーイ

アズィゼ・セッディギ